

令和5年度

事業概要書

令和5年8月2日

豊後高田土木事務所

目 次

1. 職員現員数	1
2. 管内の状況	
(1) 管内の現況	2
(2) 道路現況(国道・県道)	3
(3) 河川現況	4
(4) 港湾現況	4
(5) 砂防現況	5 ~ 6
3. 令和5年度の事業概要	
(1) 主要施策(重点事業)の概要	7 ~ 10
(2) 令和5年度公共事業施工箇所調書	11 ~ 14
(3) 単独事業費調書	15
(4) 災害復旧事業進捗状況調書	} 16
(5) 検査箇所調書	
4. 用地登記事務処理状況	17

1. 職員現員数

(令和5年5月15日現在)

組織		職 種		技能労務職員						計	非常勤職員	長期臨時職員	
		一般行政職員		事務補佐	技術補佐	技 師	道路パトロール員	土 木 巡 視	業務技師 (道路パトロール員)				
		事務	技術										
現 員	所 長		1							1			
	総 務 課	次長兼課長	1								1		
		総務班	5								5	2	
		用地班	3								3	3	
	建 設 ・ 保 全 課	課長		1							1		
		管理班	2						1		3	2	
		保全班		4				1			5	1	
		企画・道路班		5							5		
		河港砂防班		4							4		
	現 員 合 計		11	15	0	0	0	1	1	0	28	8	0

2. 管内の状況

(1)管内の状況

当事務所の管理区域は、平成17年3月31日に旧豊後高田市、旧真玉町、旧香々地町の1市2町が合併した豊後高田市の1市からなっている。管内総面積は約206.24km²であり県全面積の約3%を占め、人口は22,122人(令和5年3月末現在)となっている。

①地 形

当管内は、大分県の北部、国東半島の北西部に位置し、山地部は、瀬戸内海国立公園及び国東半島県立自然公園に指定され海岸部は周防灘に面している。市の東部から南部にかけて、ハジカミ山、尻付山、両子山や日本三叡山に数えられる西叡山などの山々が連なり、国東半島の中央部にある両子山から放射状に谷や峰々が延びた地形で、その谷間を桂川、真玉川、竹田川が流れ、河口付近に市街地が形成されている。

②産 業 等

管内には、地域ブランドとして西日本一の生産量を誇る「白ネギ」、春秋の2回栽培ができる「豊後高田そば」などの農業、浅海地域では観光潮干狩りが盛んで、リアス式海岸地域には刺し網漁、小型定置網漁、籠漁などが営まれ、沖合では牡蠣や赤貝の養殖も行われている。

産業では、平成11年以降大分北部中核工業団地を中心に、OA機器や精密製品、自動車関連部品(プラスチック・ゴム製品)の製造が盛んとなり、企業社数は17社を数え、主に中津市、北九州市等へ出荷している。

③観 光 等

管内には、昭和30年代の賑わいを再現し、映画やドラマのメインロケ地にもなった「昭和の町」や国道213号沿いには「粟嶋神社」、「日本の夕日百選・真玉海岸」、「花とアートの岬・長崎鼻」、それらを結ぶ「恋叶ロード」などの観光名所がある。

世界農業遺産としても評価された中世荘園の田園がそのまま残る「田染荘」や、真木大堂、富貴寺に代表される独自の神仏習合文化「六郷満山文化」の史跡、そのほか、国東半島最大の岩峰群である中山仙境(夷谷)など、豊かな自然と歴史文化などの地域資源が豊富な地域である。

また令和3年3月には、干潟に連続する洲と濤が海に沈む夕陽を演出する「真玉海岸」が登録記念物(名勝地関係)に登録されている。

2. 管内の状況

(2) 道路現況(国道・県道)

(道路)

(令和3年3月31日現在)

道路種別	路線数	実延長(km)	改良別内訳				路面別内訳			
			改良済(km)	%	未改良(km)	%	舗装済(km)	%	未舗装(km)	%
一般国道	1	23.7	23.7	100.0	0.0	0.0	23.7	100.0	0.0	0.0
主要地方道	4	39.0	38.3	98.2	0.7	1.8	39.0	100.0	0.0	0.0
一般県道	8	57.3	43.2	75.4	14.1	24.6	56.2	98.1	1.1	1.9
計	13	120.0	105.2	87.7	14.8	12.3	118.9	99.1	1.1	0.9

※改良済:舗装幅が5.5m以上の道路 旧道は除く

(橋梁)

(令和3年3月31日現在)

道路種別	箇所数	延長(m)
一般国道	20	453.0
主要地方道	20	510.0
一般県道	34	665.0
計	74	1,628.0

(トンネル)

(令和3年3月31日現在)

道路種別	箇所数	延長(m)
一般国道	6	2,137.0
主要地方道	3	637.0
一般県道	2	141.0
計	11	2,915.0

(3) 河川現況

(令和5年3月31日現在)

河川名	延長(m)	河川名	延長(m)	河川名	延長(m)
田笛川	3,656	高宇田川	960	羽根川	3,200
明野川	1,980	石部川	3,679	竹田川	8,560
桂川	17,800	広瀬川	6,120	八幡川	1,830
御玉川	1,800	近広川	2,230	見目川	4,825
都甲川	12,530	赤坂川	5,090	赤坂川	2,000
長岩屋川	4,890	真玉川	11,720		
内山川	360	恵良川	2,885		
丸山川	2,920	臼野川	5,280		
露川	5,140	北川	1,735		
小崎川	2,965	堅来川	4,955	計 25 河川	119,110

(4) 港湾現況

(令和5年3月31日現在)

港湾名	区分	備考
高田港	地方港湾(重要港湾以外の港湾区域の定のある港湾)	
臼野港	地方港湾(重要港湾以外の港湾区域の定のある港湾)	
堅来港	地方港湾(重要港湾以外の港湾区域の定のある港湾)	
羽根港	地方港湾(重要港湾以外の港湾区域の定のある港湾)	
真玉港	56条指定水域(港湾区域の定めのない港湾)	

(5) 砂防現況

(砂防指定地)

(令和5年3月31日現在)

溪流名	指定延長(m)	溪流名	指定延長(m)	溪流名	指定延長(m)
長岩屋川	7,780	原川	290	明ノ迫川	600
並石川	2,000	白野川	7,000	八幡川	1,260
丸山川	3,000	真玉川	9,300	西夷川	1,900
小崎川	4,650	大岩屋川	2,500	金林川	1,450
露川	5,000	西払川	1,500	松津川	1,100
相原川	5,000	赤坂川	4,800	下坊中川	162
熊野川	4,500	横泊川	2,100	長小野川	121
松行川	650	根の木川	1,100	第2田ノ口川	240
迫田川	2,800	坂敷川	700	大力川	120
茂原川	2,300	西畑川	1,100	第2上坊中川	229
両田川	2,500	重野川	222	門出谷川	550
西原川	2,700	堅来川	4,500	築地第一川及び 築地第二川	520
影平川	1,580	羽根川	3,600	第2琴ノ組川	370
大屋敷川	368	見目川	5,000	梅ノ木川	650
日平川	465	竹田川	7,950	横岳谷川	320
梅田川	610	湊川	1,200	新城川	290
鶴谷川	1,044	高島川	1,250	中村第一川	190
朝日川	710	小池川	850	影平川	250
夏吉川	600	小野迫川	600	築地第3川	100
今下田川	182	前田川	798	下長岩屋第1川	575
北川	1,800	田ノ口川	745		
北川支川	500	波戸川	1,400		
琴ノ組川	480	小河内川	900	計 66 溪流	121,621

(急傾斜地崩壊危険区域)

※1:旧豊後高田市 ※2:旧真玉町 ※3:旧香々地町

市町村名	地域名	区分	指定面積(a)	
豊後高田市	玉津	概成	124	※1
	権毛	概成	23	※1
	野部	概成	91	※1
	真中	概成	156	※1
	落	概成	140	※1
	新城 1	概成	195	※1
	新城 2	概成	90	※1
	茂原	概成	40	※1
	相原	概成	71	※1
	下屋敷	概成	160	※1
	米山	概成	48	※1
	北の迫	概成	83	※1
	池部	概成	142	※1
	2号相原	概成	95	※1
	小田原	概成	201	※1
	上野	概成	191	※1
	畑	概成	144	※1
	内山	概成	153	※1
	野添	概成	80	※1
	来縄	概成	87	※1
	3号相原	概成	30	※1
	真中	概成	86	※1
	迫	概成	50	※1
	2号真中	概成	70	※1
	大村	一部概成	110	※1
	荒尾	概成	57	※1
2号来縄	概成	38	※1	

全:53箇所のうち
概成:50箇所
一部概成:3箇所
実施中:0箇所
未着手:0箇所

(令和5年3月31日現在)

市町村名	地域名	区分	指定面積(a)	
豊後高田市	夏吉	一部概成	10	※1
	浜田	概成	71	※1
	ホキ	概成	90	※1
	真玉	概成	61	※2
	浜東	一部概成	30	※2
	常盤	概成	12	※2
	東浜	概成	38	※2
	赤坂	概成	10	※2
	白泊	概成	40	※2
	小林	概成	50	※2
	三分一	概成	66	※2
	下黒土	概成	331	※2
	香々地	概成	121	※3
	松津	概成	100	※3
	尾崎	概成	191	※3
	東羽根	概成	240	※3
	脇	概成	69	※3
	石場	概成	189	※3
	堀切	概成	50	※3
	東松津	概成	90	※3
	金伏	概成	110	※3
見目	概成	160	※3	
2号見目	概成	130	※3	
堅来	概成	168	※3	
平ノ下	概成	99	※1	
木ノ下	概成	62	※2	
合計	53箇所		5,343	

(旧豊後高田市:31箇所, 旧真玉町:10箇所, 旧香々地町 12箇所)

3. 令和5年度の事業概要

(1) 主要施策（重点事業）の概要

①一般国道 国道213号 道路改良事業（香々地～真玉バイパス）

（事業の目的及び趣旨）

国道213号は、国東半島の各地域を結び、地域の物流や生活を支える幹線道路である。さらに、当路線は竹田津港から周防灘フェリーを經由し、広島・関西方面へ向かう最短ルートとなることから観光や物流の主要なルートとなっている。また、東九州自動車道の通行止めの際には、周防灘フェリーを利用した、ダブルネットワーク機能としての役割もある路線である。

しかし当該区間の現道は、リアス式海岸に沿って急カーブが多く、平成29年6月には海岸側の断崖部が崩落し、現道まで達する災害なども発生している。また、小中学校の通学路でもあるが歩道もなく、歩行者等も危険な状況にさらされている。

このため、円滑な交通機能の確保、交通安全を目的として平成13年度から道路改良事業に着手している。

（事業の執行状況及び成果）

全体計画は、延長2,830m（事業費52億7千8百万円）であり、主な構造物はトンネル2箇所、橋梁4橋である。

平成19年度から臼野地区の工事に着手しており、平成27年度に240m、平成28年度は350mの区間を部分供用している。

令和5年度は、引き続き用地取得を進める予定である。

②一般県道 新城山香線 道路改良事業（梅木南）

（事業の目的及び趣旨）

当路線は、国東半島の主要観光拠点である両子寺や国宝富貴寺、真木大堂など六郷満山霊場と交通拠点である東九州自動車道及び国道10号を結ぶ重要な観光ルートになっている。

しかし当該区間の現道は見通しが悪く、幅員も狭いことから、小型車のすれ違いも困難な状況であるため、円滑な交通機能の確保と国東半島地域における観光地アクセスの向上を目的として、平成28年度から道路改良事業に着手している。

（事業の執行状況及び成果）

全体計画は、延長1,740m（事業費9億4千万円）のバイパス整備事業である。

令和5年度は、引き続き終点側の道路改良工事を進める予定である。

③主要地方道 豊後高田安岐線 交通安全事業（森）

（事業の目的及び趣旨）

当路線は、国東半島を東西に横断し県北地域と大分空港を広域的に結ぶ主要地方道であり、大分北部中核工業団地等の物流拠点や、昭和の町、国宝富貴寺等の主要な観光拠点などを結ぶ重要な路線である。

しかし、当該区間では右折車線の幅員が確保されておらず、右折車両の滞留により直進車両の交通が阻害されている状況である。また、歩道幅員が狭いことから、歩行者の通行にも支障をきたしている。

このため、右折レーンの整備による交通の円滑化や、歩道整備による安全な歩行者空間の確保を図ることを目的に、令和元年度から道路改良事業に着手している。

（事業の執行状況及び成果）

全体計画は、延長495m（事業費4億5千万円）で、現道拡幅、歩道整備及び交差点改良を行う。
令和5年度も、引き続き道路改良工事を行う予定である。

④道路施設修繕事業（橋梁耐震化、橋梁補修、トンネル補修）

（事業の目的及び趣旨）

近い将来に発生が予想される南海トラフ地震等の巨大地震が発生した場合でも、国道213号などの緊急輸送道路ネットワークを確保するため、橋梁の耐震化を図る。

また、今後高度経済成長期を中心に建設された多くの橋梁やトンネルが一斉に老朽化することから、「大分県橋梁長寿命化計画」、「大分県トンネル長寿命化計画」に基づき、道路施設の定期点検を着実にを行い、対策が必要と判断された施設について計画的に補修工事を実施する。

（事業の執行状況及び成果）

橋梁の耐震化については、対策が必要な全14橋の対策を完了している。

橋梁の補修については、緊急対策が必要な29橋全ての対策を令和2年度までに完了しており、予防保全として対策が必要な羽根川橋、宮川橋について、令和4年度に調査・設計を行い、令和5年度は出合橋、東夷橋、都甲側道橋の補修設計を行う予定である。

トンネルの補修については、対策が必要な13箇所全ての対策を令和元年度までに完了しており、令和5年度は真玉トンネルの補修設計を行う予定である。

⑤桂川 広域河川改修事業・河川海岸改良事業

(事業の目的及び趣旨)

桂川は、国東半島中心部に位置する両子山に源を発し、周防灘に流入する流域面積126.5km²の2級河川であり、水害氾濫の常襲地帯となっており家屋等の流出が危惧されていた。このため、平成2年度から森～小田原間において、環境の保全、親水性の向上に配慮しつつ、治水安全度の向上を図ってきたところで、令和元年度からは、平成30年度7月豪雨等の近年の災害を踏まえ実施した重要インフラ緊急点検の結果に基づき、森工区において築堤等の整備を進めている。

なお、上流の田染真中地区においても、多数の家屋浸水被害を受けたことから、河川断面を阻害している固定堰の改築や築堤を実施してきた。

(事業の執行状況及び成果)

森～小田原工区については令和4年度に完成した。森工区については上流側から築堤工事を実施しており、令和5年度は残りの築堤や樋門工を施工する予定である。

⑥臼野港 港湾改修事業

(事業の目的及び趣旨)

豊後高田市真玉地区に位置する臼野港は、港内に河川の土砂が流入し、泊地の一部に水深が不足している箇所があることから、砂・砂利を運搬する船舶の旋回に支障をきたしている。そのため、平成28年度から、その解消と漁船の安全な航路確保を目的とし、泊地内の浚渫や防砂堤の整備を進めている。

(事業の執行状況及び成果)

令和元年度までは継続的に浚渫を行い、令和2年度から抜本的な対策となる防砂堤の整備に着手し令和4年度に完了した。令和5年度は、引き続き泊地・航路浚渫等を施工する予定である。

⑦下長岩屋第1川 火山砂防事業

(事業の目的及び趣旨)

豊後高田市長岩屋地区に位置する下長岩屋第1川は、流域0.22km²の土石流危険渓流であり、その上流域では荒廃が進み、山腹崩壊による不安定土砂が多量に堆積している。

そのため、人家、指定避難所（戴星学園）や、避難路である一般県道 地蔵峠小田原線を保全するため、砂防堰堤事業を平成30年度に着手した。

(事業の執行状況及び成果)

全体計画は、事業費2億9千9百万円であり、主な構造物は堰堤1基、渓流保全工389mである。令和3年度より渓流保全工に工事着手している。令和5年度は、管理用道路を施工する予定である。

(2) 令和5年度公共事業施工箇所調査

※注1: 工事費は内示額または交付申請予定額であり、執行額とは異なります。

※注2: 事務費除きの工事費を記載しています。

図面 番号	区 分	種 別	工 種	路線・河川 港 湾 名	位 置		工事費(千円) ()は用地補償費	新規 継続 の別	概 要	上段: 全体事業費 中段: 令和5年度 下段: 令和5年度以降	C=金額(千円) L=延長(換算) H=高さ(換算) A=面積(換算)
					市町村	大字					
1	道 路	防災・安全 交付金	道路改良	国道213号	豊後高田市	小池～ 臼野	31,000 (29,000)	継続	C = 5,278,000 C = 31,000 C = 3,761,000	L = 2,830m L = 17m L = 2,017m	
2	道 路	社会資本 整備総合 交付金	道路改良	豊後高田国東線	豊後高田市	一畑2	104,000 (4,000)	継続	C = 500,000 C = 104,000 C = 155,000	L = 880m L = 183m L = 273m	
3	道 路	社会資本 整備総合 交付金	道路改良	豊後高田国東線	豊後高田市	一畑3	20,000 (-)	新規	C = 400,000 C = 20,000 C = 400,000	L = 470m L = 24m L = 470m	
4	道 路	防災・安全 交付金	道路改良	豊後高田安岐線	豊後高田市	小田原	3,000 (-)	継続	C = 990,000 C = 3,000 C = 3,000	L = 980m L = 0m L = 0m	
5	道 路	社会資本 整備総合 交付金	道路改良	豊後高田安岐線	豊後高田市	三宮	25,000 (-)	継続	C = 820,000 C = 25,000 C = 746,000	L = 949m L = 29m L = 863m	
6	道 路	社会資本 整備総合 交付金	道路改良	新城山香線	豊後高田市	梅木南	140,000 (2,000)	継続	C = 940,000 C = 140,000 C = 359,000	L = 1,740m L = 259m L = 665m	
7	道 路	社会資本 整備総合 交付金	道路改良	新城山香線	豊後高田市	田染落	25,000 (-)	継続	C = 700,000 C = 25,000 C = 635,000	L = 990m L = 35m L = 898m	
			小計	7箇所			348,000 (35,000)				
8	道 路	補助事業	交通安全	国道213号	豊後高田市	新地	37,000 (-)	継続	C = 350,000 C = 37,000 C = 100,000	L = 270m L = 29m L = 77m	
9	道 路	補助事業	交通安全	豊後高田安岐線	豊後高田市	森	80,000 (-)	継続	C = 450,000 C = 80,000 C = 183,000	L = 495m L = 88m L = 201m	
10	道 路	防災・安全 交付金	交通安全	国道213号	豊後高田市	羽根	41,350 (-)	新規	C = 800,000 C = 41,350 C = 800,000	L = 330m L = 17m L = 330m	
11	道 路	防災・安全 交付金	交通安全	豊後高田国東線	豊後高田市	本町	4,950 (-)	継続	C = 190,000 C = 4,950 C = 85,702	L = 2,971m L = 77m L = 1,340m	
			小計	4箇所			163,300 (-)				

令和5年8月2日現在

図面 番号	区 分	種 別	工 種	路線・河川 港湾 名	位 置		工事費(千円) ()は用地補償費	新規 継続 の別	概 要 上段:全体事業費 中段:令和5年度 下段:令和5年度以降	C=金額(千円) L=延長(換算) H=高さ(換算) A=面積(換算)
					市町村	大字				
12	道 路	防災・安全 交付金	災害防除	地蔵峠小田原線	豊後高田市	長岩屋	87,000 (-)	継続	C = 659,500 C = 87,000 C = 350,050	L = 460m L = 60m L = 244m
			小計	1箇所			87,000 (-)			
13	道 路	補助事業	橋梁点検	管内一円	豊後高田市	管内一円	20,000 (-)	継続	C = 20,000	-
14	道 路	補助事業	トンネル点検	管内一円	豊後高田市	管内一円	10,000 (-)	継続	C = 10,000	-
			小計	2箇所			30,000 (-)			
15	道 路	防災・安全 交付金	附属物点検	管内一円(国道)	豊後高田市	管内一円	1,000 (-)	継続	C = 1,000	-
16	道 路	防災・安全 交付金	附属物点検	管内一円(県道)	豊後高田市	管内一円	1,000 (-)	継続	C = 1,000	-
17	道 路	防災・安全 交付金	舗装点検	管内一円(国道)	豊後高田市	管内一円	1,000 (-)	継続	C = 1,000	-
18	道 路	防災・安全 交付金	舗装点検	管内一円(県道)	豊後高田市	管内一円	1,000 (-)	継続	C = 1,000	-
			小計	4箇所			4,000 (-)			
19	道 路	補助事業	橋梁補修	美和佐野線 外	豊後高田市	出合橋 外	20,000 (-)	継続	C = 20,000	-
20	道 路	補助事業	トンネル補修	国道213号	豊後高田市	中真玉	7,000 (-)	継続	C = 10,000	-
			小計	2箇所			27,000 (-)			
			道路費計	20箇所			659,300 (35,000)			

図面 番号	区分	種別	工種	路線・河川 港湾名	位置		工事費(千円) ()は用地補償費	新規 継続 の別	概要	上段:全体事業費 中段:令和5年度 下段:令和5年度以降	
					市町村	大字				C=金額(千円) L=延長(換算) H=高さ(換算) A=面積(換算)	L=300m L= 23m L=279m
21	港湾	補助事業	統合補助 (延命化)	高田港	豊後高田市	呉崎	15,000 (-)	継続	C = 192,000 C = 15,000 C = 178,800	L=300m L= 23m L=279m	
			小計	1箇所			15,000 (-)				
			港湾費計	1箇所			15,000 (-)				
22	砂防	補助事業	砂防メンテナンス 事業	尾崎	豊後高田市	香々地	70,000 (-)	継続	C = 257,000 C = 70,000 C = 90,000	L=200m L= 55m L=70m	
23	砂防	補助事業	砂防メンテナンス 事業	真玉	豊後高田市	中真玉	4,000 (-)	継続	C = 400,000 C = 4,000 C = 289,000	L=500m L= 5m L=361m	
24	砂防	補助事業	砂防メンテナンス 事業	真中	豊後高田市	田染真中	14,000 (-)	継続	C = 180,000 C = 14,000 C = 179,000	L=240m L= 19m L=239m	
			小計	3箇所			88,000 (-)				
25	砂防	防災・安全 交付金	火山砂防	下長岩屋第1川	豊後高田市	長岩屋	40,000 (-)	継続	C = 704,000 C = 40,000 C = 334,914	H=11.5m H= 0.7m H= 5.5m	
26	砂防	防災・安全 交付金	火山砂防	畑・堂園川	豊後高田市	見目	25,000 (25,000)	継続	C = 471,000 C = 25,000 C = 306,030	H=11.5m H= 0.6m H= 7.5m	
27	砂防	防災・安全 交付金	火山砂防	尾鷲長谷川	豊後高田市	臼野	10,000 (-)	継続	C = 220,000 C = 10,000 C = 176,940	H=8.0m H=0.4m H=6.4m	
28	砂防	防災・安全 交付金	火山砂防	佐屋ノ元川	豊後高田市	加礼川	20,000 (-)	継続	C = 210,000 C = 20,000 C = 148,720	H=11.5m H= 1.1m H= 8.1m	
29	砂防	防災・安全 交付金	火山砂防	新田川AB	豊後高田市	加礼川	4,000 (-)	継続	C = 255,000 C = 4,000 C = 189,220	H=11.5m H= 0.2m H= 8.5m	
			小計	5箇所			99,000 (25,000)				

令和5年8月2日現在

図面 番号	区 分	種 別	工 種	路線・河川 港 湾 名	位 置		工事費(千円) ()は用地補償費	新規 継続 の別	概 要	上段:全体事業費 中段:令和5年度 下段:令和5年度以降	C=金額(千円) L=延長(換算) H=高さ(換算) A=面積(換算)
					市町村	大字					
30	砂防	防災・安全 交付金	急傾斜地 崩壊対策	岩ノ下1	豊後高田市	中真玉	10,000 (-)	継続	C = 295,000 C = 10,000 C = 276,271	L=300m L= 10m L=281m	
31	砂防	防災・安全 交付金	急傾斜地 崩壊対策	石場	豊後高田市	堅来	22,000 (1,000)	継続	C = 90,000 C = 22,000 C = 85,000	L=190m L= 46m L=179m	
			小計	2箇所			32,000 (1,000)				
			砂防費計	10箇所			219,000 (26,000)				
			公共計	31箇所			893,300 (61,000)				

ハ 単独事業費調書

※注1: 工事費は各事業担当課が別途送付する作業値を記載しており、執行額とは異なります。

※注2: 歳入不足等が生じた場合は変更が生じる可能性があります。

※注3: 事務費除きの工事費を記載しています

事業名	工事費(百万円)	摘 要
交 通 安 全 事 業	30.074	
側 溝 整 備 事 業	5.834	
道 路 防 災 事 業	48.625	
身 近 な 道 改 善 事 業	69.047	
道 路 改 良 事 業	116.700	
道 路 施 設 補 修 事 業	91.415	
道 路 計	361.695	
河 川 海 岸 改 良 事 業	63.000	
緊 急 河 床 掘 削 事 業	45.000	
河 川 施 設 災 害 防 止 緊 急 対 策 事 業	103.000	
河 川 計	211.000	
急 傾 斜 地 崩 壊 対 策 事 業	14.000	
砂 防 施 設 再 生 事 業	15.835	
砂 防 施 設 ・ 急 傾 斜 地 災 害 防 止 緊 急 対 策 事 業	183.000	
砂 防 調 査 費	3.130	
砂 防 計	215.965	
共 生 の ま ち 整 備 事 業	3.940	道路分のみ
地 域 の 安 心 基 盤 づ くり サ ポ ー ト 事 業	4.240	
そ の 他 計	8.180	
合 計	796.840	

令和5年8月2日現在

(4) 災害復旧事業進捗状況調書

(建設災害)

年災別	決定工事費		R4年度までの実施額			残工事		
	箇所数	金額A (千円)	箇所数	金額B (千円)	B/A (%)	箇所数	金額C (千円)	C/A (%)
1災	0	0	0	0	-	0	0	-
2災	3	49,438	3	52,305	105.8	0	0	-
3災	1	6,218	1	6,578	105.8	0	0	-
4災	0	0	0	0	-	0	0	-
計	4	55,656	4	58,883	105.8	0	0	-

(港湾災害)

年災別	決定工事費		R4年度までの実施額			残工事		
	箇所数	金額A (千円)	箇所数	金額B (千円)	B/A (%)	箇所数	金額C (千円)	C/A (%)
1災	0	0	0	0	-	0	0	-
2災	0	0	0	0	-	0	0	-
3災	0	0	0	0	-	0	0	-
4災	0	0	0	0	-	0	0	-
計	0	0	0	0	-	0	0	-

(5) 検査箇所調書

年度別	R1	R2	R3	R4	摘要
検査箇所	62箇所	58箇所	57箇所	61箇所	500万円以上8,000万円未満の工事
請負金額	1,254,952千円	1,405,246千円	1,401,908千円	1,647,544千円	

4. 用地登記事務処理状況

令和5年3月末現在

区分	昭和38年 ～平成13年	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	合計
取得筆数	14,591	228	201	210	191	130	112	86	58	72	45	71	137	37	51	38	70	41	113	139	52	14	16,687
3年度までの 処理筆数	14,329	228	201	210	191	130	112	86	58	72	45	71	137	37	51	38	70	41	113	139	52	0	16,411
4年度中の 処理筆数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	14
残筆数	262	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	262
(%) 登記率	98.2	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	98.4

